

令和8年第1回倉吉警察署協議会開催状況

開催日時	令和8年2月16日(月)午後2時00分から午後4時00分まで	
開催場所	倉吉警察署	
出席者	委員 (定数11人)	中川会長、河本副会長、濱本委員、杉原委員、稲井委員、 中江委員、日名委員、生田委員、別所委員、山吉委員 以上10人
	警察	足羽署長、毛利副署長、石賀警務課長、石田生活安全課長、 谷上刑事課長、花房交通課長、警務課員2人 以上8人
議 事 概 要		
<p>1 挨拶 会長、警察署長が挨拶を行った。</p> <p>2 業務推進状況等説明 生活安全課長及び刑事課長が令和7年中の刑法犯の認知状況等について、また、交通課長が令和7年中の交通情勢について、それぞれ説明した。</p> <p>3 協議事項(優秀な人材確保に向けた取組、「ひまわりの絆プロジェクト」について) 警務課長が、鳥取県警察における採用情勢の現状、課題、採用戦略及び倉吉警察署独自の取組状況、「ひまわりの絆プロジェクト」の概要及び鳥取県警察並びに倉吉警察署の取組状況について説明した後、次のとおり協議が行われた。 委員：採用活動について、中学生による職場体験学習には対応しているか。 警察：対応している。関係部門とも連携して、施設の見学をはじめ、各種体験をしてもらっているので、希望される話があれば警察に連絡いただきたい。 委員：職場体験学習の結果、実際に体験先の業種に就職した例を知っているが、高校生になってからだと既に就職先を決めていることがあるので、中学生の職場体験学習に力を入れてみられてはどうか。 委員：職場体験学習を引き受けてくれる職場が少ないということを学校側からよく聞くので、職場体験学習を継続していただければと考える。 委員：過去の自分の経験から考えて、職場体験学習の有無によってその職業への挑戦に対する考え方が変わるので、積極的に職場体験学習をやっていたきたい。 警察：現在、高校生を中心とした採用活動を行っているが、小学生、中学生などの低年齢層に広げて採用募集活動を始めているところであり、参考とさせていただく。 委員：民間企業に勤めている方や県外で勤めていた方が鳥取県での就職を考えた場合の中途採用はあるのか。 警察：条件はあるが、中途採用にも対応している。 委員：「ひまわりの絆プロジェクト」について初めて知ることができ、この協議会で提供を受けたひまわりの種を広げていきたいと考えているが、警察を経由してから広げた方が良いか。 警察：警察を経由する必要はなく、委員側で広めていただいで問題ない。</p> <p>4 その他 次回協議会は、令和8年6月頃に開催する予定である。</p>		